

きょうの紙面

いた裁判の第1回口頭  
千葉地裁松戸支部で  
支部は和解勧告した。

県が企業とNPO橋渡し  
消防団に救命サポート隊

「八街スイカ」の査定会 16  
アウトレット跡に新施設 17  
千葉市に初の学生消防隊 14

政治 2 国際 3 スポーツ 10~12  
ちば経済 4 地方版 14~17  
レジャー 6 社会 18~19  
学芸・ラジオ 8 テレビ 20



発行所 郵便番号 260-0013  
千葉市中央区中央4丁目14番10  
千葉日报社  
電話 043(222)9211

©2009

5月23日(土)

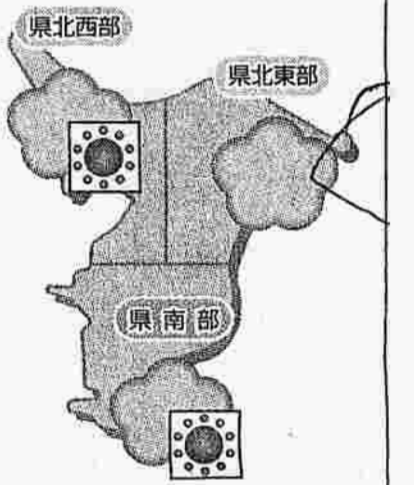
芝工業

素晴らしい地球



空気調和・衛生設備・設計施工

きょうの天気



県北西部	時間 6	12	18	24
降水確率	10	20	40	
予想気温	最低 21		最高 27	
風	波			

# 普通車800円 大型1320円

## アクア値下げ 8月から全日試行

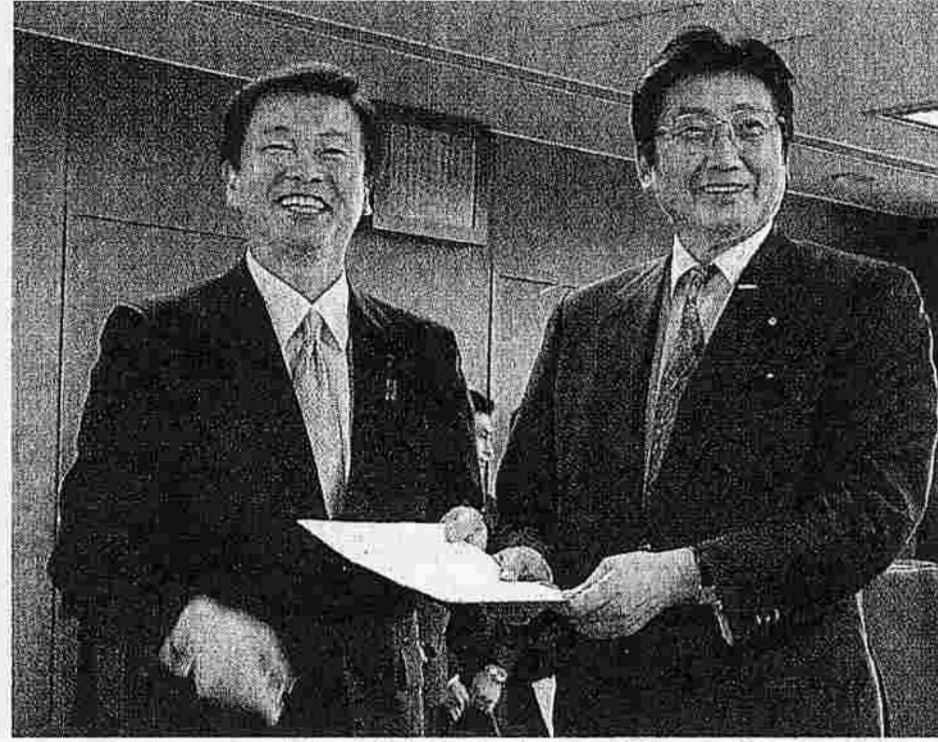
### 県提案、国交省が合意

森田健作知事は二十二日、国土交通省を訪れ、東京湾アクアラインの通行料を普通車（ETC装着車）で全日一律八百円、大型車（同）も全日一律千三百二十円に値下げする社会実験を具申し、八月一日からの値下げは時限措置ながら、一時は暗礁に乗り上げていた森田知事の最優先公約が、具体化に向け大きく歩み出す。

休日千円。大型車は三千四百五十円（同）。  
国策につなげたい  
森田知事は会談後、「物流

森田知事は「平日休日を問わず大型車を含む全車種を対象にさらなる料金引き下げが必要。県が率先して湾岸部の交通渋滞の緩和や観光・企業に及ぼす影響を検証する」と協力を要請。金子大臣は「（値下げにより）物流経済が大きく変わってほしい」と関係機関との調整に入る考えを示した。

県の提案では、社会実験は今年八月から二〇一一年三月まで一年八カ月間に行われ、全車種で引き下げを実施。東日本高速道路会社の減収分は国と県が折半するが、来年三月までの県負担分約十億円の財源は、地方への財政支援として国の〇九年度補正予算案に盛り込まれた「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」を充てる。値下げに伴う県の関係予算は、六月補正予算案



アクアライン値下げを提案する要望書を金子国交相に手渡す森田知事(左) = 22日午後、国交省

知事は十五日、麻生太郎首相らと会談。県の社会実験を国策につなげる新たな枠組みを見いだし、国交省の理解を得た。

通行料は現在、普通車が平日二千五百円（ETC装着車・午前九時～午後五時）、

も含めて非常に企業活動が活発になる。千葉県だけでなく、首都圏も非常に活力が出るのではないかと。社会実験を成功させ、国策につなげていきたい」と述べた。

地元の振興に期待  
地元の水越勇雄・木更津市長は「土日に続き全日八百円の値下げが実現すること、観光客の増加など、南房総全体の振興につながり、うれしく思う。今回は大型車も含めた値下げで産業界利用が拡大することも期待できるので、市内への企業立地の推進や優良住宅地

への定住化促進など、地域活性化に向けた取り組みを進めていきたい」とコメントした。

トラック業界歓迎  
県トラック協会の関係者は「値下げに賛成。千七百十二社の加盟社のうち、料金ネットワークでアクアラインを使っていなかった会社がほとんどだ。千三百二十円という金額は、南房総の会社が館山道や京葉道路、首都高を使って都内に行くより安くなるため、利用する車両が増えるだろう」と話した。